

東京医科大学GPA実施要領

参考（第31 条第 2 項関係）

東京医科大学GPA（Grade Point Average）実施要項

1 目的

この要項は、客観的な評価システムとして国際的に認知されているGPA制度に関する必要な事項を定め、学生の学習到達度を明確化して、学修指導と教育の質の保証に資することを目的とする。

2 成績評価区分及びGrade Point（以下GP）の取扱いについて

下表の評価区分により各科目の学年成績に対して1単位当たりそれぞれPointを付与する。

評価	評点	評価内容	GP	判定
S（秀）	100～90点	到達目標を十分に達成しており、極めて優秀な成績を示している。	4	合格
A（優）	89～80点	到達目標を達成しており、優秀な成績を示している。	3	合格
B（良）	79～70点	到達目標の達成は、望ましい水準に達しており、妥当な成績を示している。	2	合格
C（可）	69～60点	到達目標の達成は、望ましい水準には不十分だが、不合格ではない。	1	合格
D（不可）	59点以下	不合格	0	不合格

3 GPA算出方法

$$S \text{ の取得単位数} \times 4(GP) + A \text{ の取得単位数} \times 3(GP) + B \text{ の取得単位数} \times 2(GP) + C \text{ の取得単位数} \times 1(GP) + D \text{ の取得単位数} \times 0(GP)$$

①当該年度 GPA =

当該年度履修単位数（Dの単位数を含む）

②累積 GPA =

$$S \text{ の取得単位数} \times 4(GP) + A \text{ の取得単位数} \times 3(GP) + B \text{ の取得単位数} \times 2(GP) + C \text{ の取得単位数} \times 1(GP) + D \text{ の取得単位数} \times 0(GP)$$

総履修単位数（Dの単位数を含む）

※小数第3位を四捨五入する。

4 GPAの利用について

- (1) 学年末成績にGPAを併記するとともに、学年平均GPAを公開する。
- (2) 翌年度における学年担任教授及び相談教員等からの成績不振者学習指導等に関する参考資料とする。
- (3) 退学勧告に使用する。

5 成績証明書について

授業科目名と成績評価（S、A、B、C）を記載する。留学等でGPAが要求される場合は、英文成績証明書にGPAを記載する。

6 適用

この要項は、平成26年度の入学者から適用する。